

平成 29 年 度

事 業 報 告

(公財) 盛岡地域地場産業振興センター

平成29年度 事業報告

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

<事業の概況>

公益財団法人盛岡地域地場産業振興センターは、盛岡地域の自然と歴史、伝統の中で育んできた地域の文化に由来する地場の産業振興を目的として、平成29年度も積極的に盛岡広域8市町と連携し、公益目的事業の核となる地場産品紹介普及啓発、体験学習事、地場産品の資料展示や人材育成事業による後継者の育成など公益事業をいたしました。また、センターの運営安定を図るための収益事業としては南部鉄器協同組合や自動販売機業者及び一般の方々へ施設賃貸を行ったほか、地域外で生産されている集客性の高い商品の販売も積極的に実施いたしました。その他、行政等の支援事業を活用し、盛岡広域内で製作活動をしている工芸品事業者の情報を収集し、紹介した「岩手山麓・手づくりの里」マップを製作配布したほか、首都圏での盛岡広域の工芸品展示会を開催し、紹介宣伝を行い地場産業の普及に努め公益事業との連携を図りました。

1. 地場産業振興事業（公益目的事業）

盛岡広域生活圏内の地場産業振興のため、地場産品の普及啓発及び伝統工芸品の振興を図るとともに、手づくり体験を通じての後継者の確保、盛岡地域地場産業への理解向上と今後の地場産業振興発展を目的とした展示資料室運営等を公益事業として積極的に推進し、盛岡地域内の地場産業の振興を図りました。

（1）地場産品紹介普及啓発事業

盛岡広域で生産される国指定伝統的工芸品や工芸品、食品等の地場産品を県内外の消費者に広く紹介を行い普及啓発を図りました。盛岡で開催される各全国大会において、会場で「地場産品の販売」に参加し、積極的に地場産品の紹介、宣伝を行いました。また、展示即売室では広域8市町の選りすぐりの商品を「逸品コーナー」において紹介したほか、「今が旬・話題のコーナー」を設置し、新商品の紹介等を行いました。

① 展示即売事業

- ・盛岡広域逸品コーナーの活用

展示即売室内の「盛岡広域ベストセレクション」コーナーにおいて、盛岡広域8市町の食品、工芸品の紹介を行い、展示品の訴求力を高めました。

- ・うるま市友好都市交流コーナーの設置

盛岡市と友好都市・うるま市をパネルやパンフレットで紹介したほか、特産品である「泡盛」を店舗において常設展示販売を行いました。また、ふるさと納税謝

礼品のメニューに加えるなど、広く紹介を行いました。

・免税店の運用

平成 28 年 2 月 22 日に開設した免税店において、免税対応にあたりました。来村客の国別データを取り、出展事業者に情報提供したほか、旅行代理店や宿泊関係機関、報道機関へ情報提供し、利用の周知に努めました。

・ポスシステムの運用

展示即売室ポスシステムの情報に基づき、各出展者に対して、販売状況や施設外での販売計画や概要について、情報の提供を毎月、定期的実施しました。

・季節的に商品需要が高まる 6 月の中元、12 月の歳暮の時期に対応し、即売室内にギフトコーナーを設けるとともに、カタログを作成し地場製品の普及に努めました。

・ロビーを活用し、岩谷堂箆笥の入札会を季節の催事ごとに実施し、県内外のお客様に対し、岩手の伝統的工芸品を紹介宣伝しました。

・展示即売室内の「今が旬、話題のコーナー」や「イベントスペース」を活用し、季節感の演出や展示品の説明を行ったほか、伝統工芸士による製作実演を行い、展示即売室への来村客の誘導を図り、訴求力を高めました。併せて、地場産業事業者が気軽に情報交換が行える特設サロンを設けました。

・盛岡市観光交流課の事業で設置した電子掲示板を活用し、来場者に対し、盛岡地域の観光・物産の紹介宣伝を行いました。

・修学旅行お土産コーナーを設置し、修学旅行生へ事前に「修学旅行お土産最適リスト」を配布し、スムーズなお買い物への対応を行いました。

・試食販売を随時実施し、展示品の品質の良さ、特徴を説明し、実感してもらいながら展示品の普及に努めました。

・お買い上げ感謝抽選会を開催し、購買意欲の誘発に努めました。(5 月, 8 月, 10 月, 1 月, 2 月)

・マルシェ直営ショップにおいて、広域市町の商品を紹介し、試飲や試食を提供しながら来村客へ紹介を行いました。

② 物産展・展示会への出展

(全国センター等への出展)

- ・ 4 月～3 月「ハーベストの丘農産物直売所」県外委託販売
- ・ 1 1 月「山口・防府地域地場産業振興センター」県外委託販売
- ・ 1 1 月「東京都文京区博覧会／盛岡市東京事務所」出展
- ・ 1 0 月「今治地域地場産業振興センター」県外委託販売
- ・ 1 1 月「備後地域地場産業振興センター」県外委託販売
- ・ 3 月「福山暁の星女子中学・高等学校」県外委託販売

< 県内各地物産展出展参加 >

- ・ 4 月 2 3 日・2 4 日 岩電展示即売会出展

- ・ 6月14日 岩手県保健推進委員等代表者協議会出展（キャラホール）
- ・ 7月7日 全校高等学校 PTA 連合会出展（マリオス）
- ・ 8月20日 日本母親大会出展（盛岡タカヤアリーナ）
- ・ 9月16日・17日 化学系学協会東北大会出展（岩大理工学部）
- ・ 10月14日・15日 岩電展示即売会（岩電）
- ・ 10月12日～17日 盛岡市産業まつり（川徳）
- ・ 11月17日～12月20日 イオン前潟盛岡りんごフェア
- ・ 1月24日 盛岡コンベンションフェア 出展
- ・ 2月24日～25日 S-1 スイーツフェア 出展

< 県外各種物産展参加 >

- ・ 6月10日・11日 東北絆まつり（宮城県仙台市）
- ・ 7月6日～10日 板橋イオン「盛岡デー・イン・東京」（東京都板橋区）
- ・ 9月13日～18日 柏高島屋「大岩手展」（千葉県柏市）
- ・ 10月21日・22日 うるままつり（沖縄県うるま市）
- ・ 10月28日・29日 八戸センター開業 25 周年「じばさんまつり」（青森県八戸市）
- ・ 11月9日～13日 イオン琉球「いわて盛岡デーIN 沖縄」（沖縄県島尻郡南風原町）
- ・ 11月21日・22日 いわて銀河プラザ「盛岡りんごフェア」（東京都中央区）
- ・ 12月2日・3日 浅草まるごとにつぼん「モリハチ祭り」（東京都台東区）
- ・ 12月16日・17日 うるま市産業まつり（沖縄県うるま市）
- ・ 1月10日～16日 札幌東急「みちのく盛岡の名品と観光展」（北海道札幌市）
- ・ 2月28日～3月5日 八木橋百貨店「岩手の物産展」（埼玉県熊谷市）

< 常設展示 >

- ・ 4月～3月 「イオン盛岡・もりおかん」常設委託販売
- ・ 4月～3月 「歴史館」常設委託販売
- ・ 4月～3月 「もりおか啄木・賢治青春館」常設委託販売
- ・ 4月～3月 「つなぎ温泉観光協会」常設委託販売
- ・ 4月～3月 「ららいわて」常設委託販売
- ・ 4月 「四十四田ダム桜祭り」委託販売

< ギフトカタログの作成 >

- ・ 6月～8月 「盛岡手づくり村・夏ギフト」
- ・ 11月～12月 「盛岡手づくり村・冬ギフト」

< ふるさと納税謝礼品の受注 >

- ・ 4月～3月 38件

<イベントスペースの利用>

- ・ 5月 漆器製作の実演・販売

<ロビーの活用>

- ・ 5月・8月・10・11月 岩谷堂筆筒入札会の開催

<即売室棚替えの実施>

- ・ 工芸品コーナー棚替え実施
- ・ 染物コーナー棚替え実施

<マルシェ>

- ・ マルシェ 新メニュー開発（短角牛ハンバーグ・つなぎ温泉玉子メニュー）
- ・ マルシェ立ち飲みコーナーの設置
- ・ マルシェ 盛岡広域市町デザートメニューの提供
- ・ マルシェギャラリーOPEN

③ インターネット「楽天市場」バーチャル産業まつり

期 間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

出品物：食品・工芸品等 約450アイテム

（2）体験学習事業

盛岡手づくり村が持つ最も優れた機能の一つである工房の職人の技を活かした「体験学習」を実施し、県内外の観光客に対し、ものづくりの喜びと楽しみ、感動を与えたとともに、盛岡地域の文化や風土を、そこから生み出される工芸品への理解を深めて頂きました。また、昨年度、盛岡広域圏内の教育関係機関向けに製作した、パンフレットを教育機関並びに、旅行代理店等に配布し、盛岡手づくり村の工房や職人を紹介しました。

- ・ 「手づくり教室」は、盛岡広域の歴史と文化に根差した手仕事の技を体験し、職人と直接、接することができ、日本の手仕事を理解する絶好の機会であり、当施設が他の施設を圧倒する特徴的な事業です。次の11の分野で、24コースを設け、通年に渡り実施しました。

陶器、藍染、竹細工、わら細工、木工、はたおり、こけし絵付、こま絵付
陶器絵付、木の実細工、冷麺

- ・ 昨年度修学旅行の誘客宣伝と事前学習、来村時の学習向けに製作した、盛岡手づくり村内の工房や職人、さらに、盛岡市教育員会教育長のメッセージを紹介したパンフレット「ここに、技と心がある」を、教育関係者や旅行代理店等に配布、情報提供し、体験学習事業の意義を説明しながら誘客宣伝に努めました。
- ・ 体験学習の動向の把握と、誘客宣伝活動として、旅行代理店や学校等を対象として、県が主催する札幌、函館、東京での教育旅行誘致説明会に参加し、旅行代理店や中学校、高等学校関係者に対して誘客を働き掛けました。

- ・修学旅行の事前調査に来村する学校，団体等に対して，これまでの実績や十分な情報を提供し，来村者の確保に努めました。
- ・盛岡広域圏内の小学校の誘客宣伝として，夏季，冬季の長期休業期に対応した「特別体験教室」を実施しました。また，体験種目，内容を紹介するチラシを広域圏内の全児童に配布しました。
- ・「手づくり講座」を企画し，広域市町と連携を図り，雫石町内に伝わる節句行事「花まんじゅうづくり」を開催しました。

(3) 展示資料室運営事業

盛岡地域地場産業への理解を深め今後の地場産業振興発展を目的として，全国から訪れる来場者に対して歴史や製造工程，制作者等を資料やパネルで紹介したほか，伝統工芸品の展示紹介を行ないました。

- ・展示資料の充実を図り，全国から訪れる観光客に地場産業文化と芸術的工芸品への理解に努めました。
- ・地場製品の歴史や生産技術，生産工程，施設内工房の紹介を通して，盛岡広域圏内の地場製品の普及宣伝を図りました。

2. 人材育成事業（公益目的事業）

盛岡地域の手づくり産業を担う技術者や後継者の育成を図るため，広域8市町と連携し，講演会や展示会等を通して，製作技術や展示方法の向上を図った他，手仕事に携わる事業者同士の交流の促進を図りました。

- ・手仕事に携わる事業者，従業者，工芸製作に興味を持つ方々をはじめ市民を対象に，全国各地の工芸品や伝統工芸士の活動，工芸産業の現状や将来展望，産地の活性化事例に関する講演会を開催しました。また，「伝統的工芸品月間国民会議全国大会」を平成31年度に岩手に招致することについて機運を盛り上げることにつながりました。
- ・異業種による首都圏での展示会を通じて事業者同士の交流を図ったほか，他県の事業者との共同出展により製作や展示技術等の職人相互の交流を促進しました。

3. 施設賃貸事業（収益事業）

南部鉄器協同組合，自動販売機業者及びホームページでの広告宣伝等により一般の方々への施設賃貸を行い，センター運営に必要な収益の一部としました。

- ・南部鉄器協同組合へ，事務所，倉庫として貸し付けました。
- ・(株)サンベンディング，みちのくコカコーラ(株)へ，自動販売機設置(10台)のため貸し付けました。

4. 販売促進事業（収益事業）

展示即売室内に地域外商品の販売スペースを設置し、収益性の高い商品の販売並びにプライベートブランド商品であるアロニア関連商品の販売を行い収益の拡大を図りました。

① 盛岡手づくり村産直「マルシェ」

- ・マルシェにおいて、業界関係者の新商品の普及宣伝、広域市町の特産品の試食販売などを実施しました。また、盛岡手づくり村オリジナルアイス「なんじぇら?」、 「アロニア商品」の普及宣伝に積極的に取り組みました。
- ・マルシェ内に陶芸作家の作品を展示したギャラリーを設け、作品の紹介宣伝を行いました。また、作家の作品を使ってコーヒーなどの提供を行いました。
- ・盛岡広域で作られる清酒や地ビール等と地場産品のおつまみをセットで楽しめる「立ち飲みコーナー」を設置し、外国人や県内外のお客様に好評を得ました。
- ・即売室と連携して、話題の商品をマルシェメニューに取り入れ、販売に結び付くよう工夫をしました。

②アロニア関連商品開発事業（販売促進事業）

本年度は盛岡市東部産のアロニア関連商品を製造すると共に、積極的な普及宣伝、販売活動を実施しました。

- ・アロニア製品の製造販売、ジャム、サプリメント、ジュース等

5. 共用施設維持管理事業（その他の事業）

盛岡手づくり村を構成する、盛岡市、盛岡地域地場産業振興センター、協同組合盛岡手づくり村の三者において共有する施設の維持管理を行いました。

6. 南部曲り家地場産品普及宣伝事業（その他の事業）

全国から訪れる観光客に対し、地場産業文化への理解を得ることを目的とし工芸品の製作実演や地域に伝わる伝統行事、工芸品展示会等の企画を実施しました。

- ・国内外から来村する団体客や個人に対して、盛岡地域の地場産業を幅広く紹介することを目的として、こけしや、木工雑貨等の工芸品制作実演を実施し盛岡地域の地場産品を紹介しました。
- ・盛岡地域に伝わる伝統行事などを開催し、伝統行事等を将来に伝承する活動を行いました。

7. 地場産業普及啓発事業（その他の事業）

盛岡地域の地場産業並びに職人が製作する工芸品や地場食品等を幅広く普及啓発を図ることを目的として、盛岡市から次の事業を受託しました。

盛岡地域ものづくり産業魅力向上事業

盛岡地域の工芸品を首都圏において展示紹介を行い、盛岡地域で活動する工芸品事

業者の工芸品製作技術向上を図るとともに、工芸者マップを作成することでネットワーク化を図り、盛岡手づくり村に盛岡地域で活動する工芸品事業者の情報が集約仕組み構築し工芸品等の事業者を支援しました。

- ・効果的な展示方法に関する研修会の実施

日時：平成29年10月15日（日）～16日（月）

会場：地場産業振興センター2階研修室，工房，展示即売室

講師：指田京子（伝統的工芸品産業振興協会 元産地支援部長）

関根由子（家庭通信社代表）

- ・青山スクエア「盛岡の伝統工芸品展～岩手山麓・透きとおる秋～」の開催

会期：平成29年10月20日（金）～10月25日（水）

- ・青山スクエア「盛岡の伝統工芸品展～岩手山麓・手仕事は春の光につつまれて～」の開催

会期：平成30年2月23日（金）～3月7日（水）

- ・盛岡の伝統工芸品展～岩手山麓の春～の開催

会期：平成30年3月16日（金）～3月21日（水）

- ・盛岡地域の工芸工房案内「岩手山麓手づくりの里」製作

部数：5,000部

配布：青山スクエア「盛岡の工芸品展」会場

内容：盛岡地域の工芸工房案内，製品の内容

8. 交流促進事業（その他の事業）

盛岡手づくり村への集客と地域住民との交流を図ることを目的に、季節イベントを開催したとともに、他団体主催のイベントを支援して、地場製品の紹介宣伝を行いました。また、平成29年度は従来開催している冬まつりを「いわて雪まつり」のサブ会場として2月14日から18日までの5日間開催しました。

（1）交流促進事業

- ・盛岡広域・盛岡手づくり村春まつり2017（5月）
- ・盛岡手づくり村チャグチャグ馬コ記念行事（6月）
- ・盛岡広域・盛岡手づくり村夏まつり2017（8月）
- ・盛岡手づくり村お正月特別営業催事（1月）
- ・盛岡手づくり村冬まつり～雪ものがたり～（2月）

* 関連業界，団体等の催事利用の推進，支援

- ・盛岡手づくり村工房まつり（9月）

（2）地場産業対策事業

- ・盛岡広域・盛岡手づくり村秋まつり2017の開催（10月7日～9日）

主催：公益財団法人盛岡地域地場産業振興センター

盛岡市，八幡平市，滝沢市，雫石町，葛巻町，岩手町，紫波町，矢巾町
共催：協同組合盛岡手づくり村
後援：関係機関，報道関係各社
会場：盛岡手づくり村（振興センター・催し物広場・南部曲り家）
内容：盛岡広域食と工芸フェア，郷土芸能披露，お買いあげ感謝抽選会など

9. 管理運営事業（法人事業）

振興センターは，盛岡地域の地場産業振興及び観光拠点施設として，県内外等からの来場者に利用されています。本年度も，環境整備や施設維持管理による来場客へのサービスを図った他，電子掲示板を活用した観光，物産，施設等の紹介により観光客誘致を積極的に実施しました。その他，通年で来場者へのアンケート調査を実施し，ニーズを把握するなど，事業の円滑な推進に努めたほか，小岩井農場・つなぎ温泉等周辺施設との連携協調に努めました。また，全国地場産業振興センター協議会と連携し，お互いの情報交換を図りました。更には盛岡地域の地場産業振興拠点施設，観光施設としての機能並びに振興センター運営の充実を図るとともに，周辺施設との連携や旅行代理店への広告宣伝など，ソフトやハードの面で強化を図り，来場者の誘致と利便性の向上に努めました。

（1）振興センター入場者への宣伝・紹介

- ・ 入場者等への案内・説明・誘致宣伝活動
- ・ 観光客，視察来訪客への案内・説明
- ・ 日本語・英語・韓国語・中国語・タイ語のパンフレットの配付
- ・ 日本語，英語，中国語，韓国語，タイ語による施設案内放送の実施
- ・ 旅行代理店との提携による入場者の誘致，及びパンフレット等送付
- ・ 外国人客へのパンフレット配布
- ・ 電子掲示板を活用した観光，物産，施設等の紹介
- ・ ロビーを活用し盛岡手づくり村の職人を写真で紹介
- ・ 盛岡手づくり村の雫石民芸社が製作した「巨大わら細工昇り龍」をロビーに設置し，手仕事の技を来場者に紹介
- ・ マスメディア利用による宣伝・普及活動
- ・ 新聞，テレビ，ラジオ，雑誌等への広告，情報の提供及び取材協力

(2) 理事会・評議員会の開催

開催年月日	場所	会議名	会議内容
平成29年6月2日	地場産業振興センター	第1回理事会	平成28年度事業報告及び決算, 定時評議員会の開催等
平成29年6月20日	地場産業振興センター	第1回評議員会	平成28年度事業報告及び決算, 役員の選任決議他
平成30年2月20日	地場産業振興センター	第2回理事会	平成29年度補正予算平成30年度事業計画及び予算, 定時評議員会の開催等
平成30年3月13日	地場産業振興センター	第2回評議員会	平成29年度補正予算平成30年度事業計画及び予算, 補欠理事の選任決議他等

(3) 職員研修の実施

- ・教育旅行セミナー 4月19日
- ・効果的な展示方法研修会 10月15日・16日
- ・南部鉄器展示会用商品梱包研修 10月17日
- ・漆器商品知識研修(漆DAY) 11月18日・19日
- ・入札談合防止研修会 12月7日

(4) 盛岡手づくり村復興研究会の開催

盛岡地域地場産業振興センターの広範囲な経営課題について盛岡市と意見交換することを目的として実施しました。

- ・平成29年6月5日 盛岡市役所502会議室

(5) 広域経済活性化懇談会の開催

盛岡地域地場産業振興センターを構成する盛岡広域8市町との連携を図り, 振興センターが有する機能を活用した事業等の計画, 実施並びに地域経済及び各施策に関する情報の共有, 交換を行い広域経済の活性化を図るため, 盛岡広域8市町の担当課長及び盛岡地域地場産業振興センター事務局長で組織する広域経済活性化懇談会を開催しました。

- ・平成30年1月23日 振興センター研修室

(6) 盛岡広域内の情報提供の実施

玄関ロビーに設置した「盛岡広域インフォメーション」を活用し、来場者に対し盛岡広域8市町の観光、行事等を紹介しました。(通年)

(7) 総合案内リーフレットの増刷

平成29年9月に31,000部作成し配布を行いました。

(8) 電子掲示板の設置

盛岡市観光交流課の事業で提供を頂いた、電子掲示板を施設内に設置し、盛岡市の観光・物産とともに、盛岡手づくり村の紹介宣伝を行いました。

(9) 巨大わら細工昇り龍クイズの実施

盛岡手づくり村に訪れる観光客の動向を調査することを目的とし、春夏秋冬に実施する「まつり」期間中、盛岡手づくり村開業30周年記念事業で製作したモニュメント「巨大わら細工昇り龍」のクイズを行いデータの収集を行いました。

(10) 施設内の環境整備の実施

- ・ 4月 一斉清掃の実施
春のプランター整備
- ・ 9月 秋のプランター整備

(11) テレビ・ラジオ取材

- ・ 5月 3日(水) 春まつり (テレビ岩手 5きげんテレビ)
- ・ 5月 4日(木) 春まつり (テレビ岩手 ニュース)
- ・ 8月13日(日) 夏まつり (NHK 東北六県ニュース)
- ・ 8月13日(日) 夏まつり (テレビいわて 県内ニュース)
- ・ 8月14日(月) 夏まつり (めんこいテレビ 県内ニュース)
- ・ 8月14日(月) 夏まつり (いわて朝日テレビ 県内ニュース)
- ・ 9月 6日(水) 工房まつり (ラジオもりおか)

(12) 新聞・雑誌関係

- ・ 4月 1日(土) トイレ改修援助に寄付 (盛岡タイムス)
- ・ 5月 4日(木) 工房体験やグルメ家族連れにぎわう (岩手日報)
- ・ 5月 5日(金) 食と物産、体験のGW (盛岡タイムス)
- ・ 8月14日(月) 岩手名物感じる 手づくり村夏まつり (岩手日報)

- ・ 8月14日（月）帰省客に名産と体験 手づくり村夏まつり（盛岡タイムス）
- ・ 9月 2日（土）陶器や竹細工伝統の技体験（岩手日報）
- ・ 9月19日（火）香ばしい思い出 手づくり村まつり（岩手日報）
- ・ 9月21日（木）熔鉄操る職人技公開 工房まつり（盛岡タイムス）
- ・ 10月1日（水）盛岡手づくり村 フォーラムで本県誘致へ（盛岡タイムス）
- ・ 11月5日（日）手の力を微細に調整 盛岡竹細工（岩手日報）
- ・ 11月7日（火）大森信政さんら卓越技能者（盛岡タイムス）
- ・ 11月16日（木）技に生き伸びゆく力へ 卓越技能者（盛岡タイムス）
- ・ 11月22日（水）豊かな恵み東京でPR りんごフェア（岩手日報）
- ・ 12月31日（日）大縁起物市を初企画（盛岡タイムス）
- ・ 1月 3日（水）盛岡手づくり村「お正月フェア」（岩手日報）
- ・ 1月 4日（木）盛岡手づくり村「お正月フェア」（盛岡タイムス）

